

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科	実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング
科目名称 [英語名称]	教職実践演習(幼) [Seminar in the Teaching Profession (Kindergarten and Elementary School)]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	750101	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	4年次
教員氏名	金子 幸/藤本 朋美			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) DP2(2) DP3(1) DP3(2)		
授業概要	<p>本授業の目的は、大学4年間にわたる専門的な科目履修や実習等を通して習得してきた知識・技能を点検・確認するとともに、不足している知識・技能等があれば保管・向上させ、教育や保育の現場で働く知識や技術を身に付けていくことです。また、同時に、保育者として必要とされる地域との連携について理解し、実践できる力を身に付けることも目指しています。</p> <p>そのために授業では、最初にこれまでの学びを振り返り、各自の課題を把握します。その課題解決も含め、保育者として必要な資質・能力の向上を図り、最後に、再び自らの課題を明らかにし、学び続けることの意義を考えます。</p>						
関連する科目	「保育実習」「教育実習」を事前に履修しておくことが望ましい。						
授業の進め方と方法	<p>毎回の授業にて、演習形式の授業を展開します。1回の授業の構成は以下の通りです。授業の前半では、授業計画に沿った内容について講義を行います。後半では、グループディスカッションを通して講義内容の理解を深め、自らの課題を明らかにし、レポートにまとめます。場合によっては、グループごとにプレゼンを行います。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.オリエンテーション:自らの課題を把握 4年間の学びを振り返り、今後の課題を把握します。</li> <li>2.教育・保育の意義や保育者の役割、職務内容、子どもに対する責任等について 保育者の専門性とは何かについて考えます。</li> <li>3.社会や対人関係能力について 社会人として必要な力と対人関係能力について考えます。</li> <li>4.乳幼児理解について これまでの学びと経験から乳幼児理解について振り返ります。</li> <li>5.保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領における保育内容の理解 指針・要領に関して理解を深めます。</li> <li>6.地域連携における保育者の役割 保育者として地域と連携することの意義について学びます。</li> <li>7.地域連携に向けた保育実践の企画 地域連携の実際について具体的に企画・提案をします。</li> <li>8.保育者の仕事—現場保育者から学ぶ 近隣園の保育者を招き、保育者の仕事について理解を深めます。</li> <li>9.保育者として働くということ—先輩保育者から学ぶ 卒業生を招き、保育者1年目の実際について学びます。</li> <li>10.地域子育て支援について 地域子育て支援について具体例を基に考察します。</li> <li>11.保育者としての子ども理解—記録を通して 保育実践における記録の意義について学びます。</li> <li>12.現代保育の課題 現代保育の課題についてグループディスカッションを通して考えます。</li> <li>13.これからの保育者に求められること 保育者に必要な専門性について、これまでの学びを踏まえて考えます。</li> <li>14.履修カルテの振り返り 履修カルテを使い、4年間の学びを再確認します。</li> <li>15.まとめ 学び続ける保育者であるために自らの課題を明らかにします。</li> </ol>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.教員として求められる資質である4つの事項(①使命感・責任感・教育的愛情、②社会性・対人関係能力、③子ども理解と学級経営等の能力、④保育内容等の指導力)を身に付ける</li> <li>2.地域との連携を考えた保育実践について理解し、実践できる</li> </ol>						
授業時間外の学修	<p>次回の内容に関する課題を授業中に課します。その課題に積極的に取り組み授業に臨むことを予習とします。授業の振り返りと、4年間の学びを踏まえた各回の授業内容に対する自己分析を行うことを復習とします。復習を通して自らの課題を見つけることを心掛けてください。</p>						
課題に対する フィードバック	レポートは評価後、返却します。			評価方法	<p>以下の項目に基づいて評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業への積極的な取り組み・意欲60点</li> <li>2) 課題提出40点</li> </ol>		
テキスト	『改訂版』保育教職実践演習 これまでの学びと保育者への歩み(1,600+税)、小櫃智子/矢藤誠慈郎、わかば社、2018						
参考書	『保育所保育指針解説書』(320+税)、厚生労働省編、フレーベル館、2017『幼稚園教育要領解説書』(240+税)、文部科学省編、フレーベル館、2017『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書』(350+税)内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館、2017						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科
科目名称 [英語名称]	教職実践演習(小) [Seminar in the Teaching Profession (Kindergarten and Elementary School)]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	750101	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	4年次
教員氏名	宮内 孝			学位授与の方針 との関連	DP2(1) DP3(1) DP3(5)		
授業概要	<p>この授業では、大学4年間にわたる専門的な科目履修や教育実習等を通して学生が修得してきた知識・技能を点検・確認するとともに不足している知識・技能等があれば補完・向上させ、卒業後、小学校教育の現場で生きて働く知識や技能を身につけていくことをねらいとしています。</p> <p>教職の意義・職務内容、社会性・対人関係能力、児童理解、生徒指導の具体的対応の方法、学級経営のあり方について、小学校で教育実践を行っている先生を招いたり実践例を取り上げたりして考えます。</p> <p>授業者は、小学校教諭・教頭として教育実践に取り組んだ経験があります。この実践を通して得た知見を活用して、本授業の学修が深められるようにします。</p>						
関連する科目	小学校教育実習 I						
授業の進め方と方法	<p>課題についてのグループ協議やロールプレイなどのグループワークを通して、課題解決を図るようにします。また、小学校における教育実践に取り組んでいる先生との交流や学習支援ボランティアでの経験などについての学生同士の交流を通して、理解を深めるとともに実践力を高めます。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教師に必要な資質・能力 小学校の先生とともに、教師に必要な資質・能力をテーマとした協議を行いながら理解を深めます。</li> <li>2. 子どもの理解と方法と実際 「叱る」と「指導」</li> <li>3. 子どもの理解と方法と実際 肯定的な人間関係づくり</li> <li>4. 子どもの理解と方法と実際 場面指導</li> <li>5. 子どもの理解と方法と実際 学習支援ボランティアの振り返り ロールプレイやグループ協議を通して、子どもとのよりよい関係づくりのための手立てを考えます。</li> <li>6. 学級づくり 学級の目標づくり・組織</li> <li>7. 学級づくり 学級の規律・自主性</li> <li>8. 学級づくり 保護者との連携</li> <li>9. 学級づくり 現職の先生と3年生への「私のめざす学級」プレゼン 優れた学級づくりの事例を取り上げながら、自己の学級像をまとめ、それを現職の先生に発表してご指導をいただき、さらによりよい学級づくりに取り組みます。</li> <li>10. 生徒指導上の問題とその対応 不登校・校内暴力・いじめ</li> <li>11. 生徒指導上の問題とその対応 好ましい人間関係づくり</li> <li>12. 小学校の授業づくり 上記の課題について、現職の先生によるグループワークを通して、それぞれの課題を解決するための具体的な手立てについて考えます。</li> <li>13. 小学校の営み・教員の営みについて 現職の卒業生とのグループワーク 学級経営</li> <li>14. 小学校の営み・教員の営みについて 現職の卒業生との質問交流</li> <li>15. 4月始業に向けて準備すること</li> </ol>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校教育の現場で必要とされる小学校教員としての総合的な実践力を身に付けることができる。</li> <li>2 不易と流行の学校現場にシなやかに対応できる力を身に付けることができる。</li> <li>3 教職を希望する学生にとっても学校現場以外の職業を希望する学生にとっても重要なプレゼン力を身に付けることができる。</li> </ol>						
授業時間外の学修	<p>授業中に次の時間の学習内容について提示します。その学習内容について、調べておいて下さい。また、授業後は、授業で提示した教材と関連した教材を文献などで調べておいてください。</p>						
課題に対するフィードバック	レポートは採点后返却し解説をします。		評価方法		毎回の授業への取り組み・意欲態度(10%)演習(30%)、レポート(60%)を総合的に評価する。		
テキスト	毎回、プリント、スライド資料を配布します。						
参考書	必要に応じて提示します。						
備考							